大　使　館　情　報

2021 年 10 月

【目次】

1．ブラジル・マクロ経済情勢
（1）経済情勢
（2）経済政策等
（3）金融政策
（4）為替市場
（5）株式市場

2．ブラジル政治情勢
［内政］
（1）　新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
（2）　国家安全保障法（LSN）廃止法の裁可
（3）　9 月 7 日独立記念日デモ関連
（4）　反政府デモの発生
（5）　ボルソナーロ政権発足 1000 日関連行事
（6）　選挙制度改革に関する憲法修正案の上院通過と公布
（7）　ボルソナーロ政権の支持率

［外交］
（1）　アフガニスタン難民に対する人道上の理由による入国査証の発給
（2）　モウラォン副大統領・外交団による東アマゾン地域視察
（3）　ボルソナーロ大統領の BRICS 首脳会合出席
（4）　ボルソナーロ大統領の国連総会出席
（5）　フランサ外相の国連総会出席

3．トピックス
（1）山田大使のマット・グロッソ・ド・スール州訪問
（2）「新型コロナウイルス感染症に対する組織的能力強化プロジェクト」に係る補足取極の署名

４．大使館からのお知らせ

（１）文化イベント

（２）外務省海外安全ホームページ

（３）ブラジル渡航情報

１．ブラジル・マクロ経済情勢

（１）経済情勢（９月発表の経済指標）※貿易収支は 10 月発表

（ア） ７月の鉱工業生産指数は前月比▲1.3%、前年同月比では+1.2%となった。

（イ） ７月の小売売上高は前月比+1.2%、前年同月比+5.7%となった。

（ウ） ８月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.87%となり、前月（0.96%）から上昇幅は 0.09%ポイント縮小。直近 12 カ月累計は+9.68%となり、前月（同+8.99%）から上昇幅は 0.69%ポイント拡大。

（エ）失業率（2021 年５～７月）は 13.7%となり、３か月前（２～４月）の移動平均 14.7%から 1.0%ポイント低下した。また前年同期比（2020 年５～７月：13.8%）では 0.1%ポイント低下した。

（オ）2021 年９月の貿易収支は 43.2 億ドルの黒字。2021 年１～９月の累計は 564.3 億ドルの黒字。

（カ）伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）について、９月 24 日時点で、GDP 成長率予測については、2021 年は 5.04%（前週から変わらず）で、2022 年は 1.57%（前週から 0.06%ポイント低下）となった。インフレ率については、2021 年は 8.45%（前週から 0.10%ポイント上昇）で、2022 年は 4.12%（前週から 0.02%ポイント上昇）となった。2021 年第２四半期（４～６月）の実質 GDP 成長率は、前期比▲0.1%（季調済）と４四半期ぶりのマイナス成長となり、前年同期比+12.4%と２四半期連続のプラス成長となった。

（２）経済政策等

（ア） ９月２日、下院は所得税についての税制改革案（今年６月に政府から議会へ提出されたもの）の修正案を可決。個人所得税の最低課税所得の引上げ（1,903.99 レアル→2500.01 レアル以上）、法人税の税率引下げ（15%→８%）、CSLL（社会負担金）の税率引下げ（一般法人の場合９%→８%）配当金への課税（15%）等が含まれている。

（イ） ９月 16 日、ボルソナーロ大統領は、貸出に係る金融取引税の税率を９月 20 日から 12 月 31 日まで一時的に引き上げるとの大統領令を公表。税率の変更は、法人については年率 1.5%→同 2.04%、個人については年率 3.0%→同 4.08%。新たな社会保障制度アウシーリオブラジル（Auxilio Brasil）等の財源に充てられる。８月９日、ボルソナーロ大統領は、新たな社会保障制度アウシーリオブラジル（Auxilio Brasil）を導入するための暫定措置令を議会に提出。11 月に発効予定で、既存の制度ボルサファミリアの代替となる。

（３）金融政策

９月 21 及び 22 日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は、政策金利である Selic 金利を 100bp 引き上げ 6.25%とすることを決定した。政策金利に引上げは３月、５月、６月、８月に続き５会合連続。次回会合は 10 月 26 及び 27 日に開催予定。。

（４）為替市場

（ア） ９月の為替市場は 5.16～5.44 レアル/ドルで推移。

（イ）月の前半は 5.16～5.32 レアル／ドルで推移。９月７日の独立記念日で、大統領が最高裁判事を批判する等、政治的緊張の高まりを背景にレアル安となった。同９日に大統領が最高裁判事や連邦議会を攻撃する意図はなかったとの内容を含む声明を発表したことで、政治的緊張は落ち着きを取り戻した。その後は、伯中央銀行の金融政策の見通し等を材料に上下する展開となった。

（ウ）月の後半は 5.25～5.44 レアル／ドルで推移。中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念を背景としたリスクオフの動きや、米国金融緩和の縮小観測の高まり等を材料にレアル安の展開となった。

（５）株式市場

（ア） ９月の株式市場は 108,844～119,396 ポイントで推移。

（イ）月の前半は 113,413～119,396 ポイントで推移。為替と同様に、独立記念日における大統領の発言による政治的緊張の高まりを背景に下落するも、大統領が声明の発表したことで回復。その後は資源価格の動向等を材料に上下する展開となった。

（ウ）月の後半は 108,844～114,064 で推移。中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念等を材料に下落傾向となる展開となった。

２．ブラジル政治情勢（９月の出来事）

【内政】

（１）新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

９月、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会（CPI）の証人喚問及び参考人招致が行われた。1 日、VTCLog 社のバイク便配達員を務めるイヴァニルド・ゴンサルヴェス氏が、2 日、フランシスコ・アラウージョ元連邦直轄区（DF）保健局長が、14 日、FIB Bank 社の実質的なオーナーとされるトンレンチーノ弁護士が、15 日、マルコニー・アルベルナス・デ・ファリア氏が、21 日、ロザリオ連邦総監督庁（CGU)長官が、22 日、Prevent Senior 社のバチスタ・ジュニオール社長が、23 日、ダニロ・トレント氏が、28 日、

ブルーナ・モラト弁護士が、29 日、実業家であるルシアーノ・ハンギ・HAVAN 社社長が供述を行った。

（２）国家安全保障法（LSN）廃止法の裁可

9 月 2 日、ボルソナーロ大統領は、国家安全保障法（LSN)を廃止し、新たに民主主義及び法の支配に対する犯罪に罰則を設ける法律の中で、選挙プロセスにおけるフェイクニュースの拡散、デモの権利に対する攻撃、軍人及び警察官の民主主義及び法の支配に対する犯罪の厳罰化等、5 項目に対して拒否権を発動した上で裁可した。

（３） 9 月 7 日独立記念日デモ関連

9 月 7 日、ブラジリアにおいてボルソナーロ大統領が主宰した独立記念日を祝う式典が開催された。大統領は同日、ブラジリア及びサンパウロでデモ隊を前に演説を行った。同日の政府支持デモはブラジリア及び 26 の州都等主要都市において実施された。

9 月 9 日、ボルソナーロ大統領は声明を公表。同声明の中で大統領は、7 日の自身の演説は、連邦最高裁の判事を攻撃する意図は無かった、国民と経済を無視して緊張状態を続ける権利を大統領は有しない等述べた。

（４） 反政府デモの発生

9 月 12 日、ブラジリア及び 18 州都等の主要都市において、市民団体 MBL 及び Vem Pra Rua の主催による反政府デモが実施された。シロ・ゴメス元財務大臣、ドリアサンパウロ州知事、レイテ・リオ・グランデトスル州知事、マンデッタ元保健大臣等も加わった。労働者党(PT)は参加せず、動員数では 7 日の政府応援デモを大幅に下回った。

（５） ボルソナーロ政権発足 1000 日関連行事

（ア）9 月 27 日、ボルソナーロ大統領は大統領府で行われた式典の中で、政権発足 1000 日を記念して演説を行った。大統領は、汚職との闘い、経済事情、軍部との関係、新型コロナウイルスのワクチン等について論じた。

（イ）9 月 28 日、大統領は零細農家に対する土地の権利書交付に関する式典に参加すべくバイーア州を訪問。29 日には火力発電所の完成式典に参加すべくロライマ州を訪問した。

（６） 選挙制度改革に関する憲法修正案の上院通過と公布

9 月 22 日、上院において、選挙制度改革に関する憲法修正案が可決され、

28 日同法は公布された。今次改革のポイントは次のとおり。①2027 年から大統領及び知事の就任日を 1 月 5 日(大統領) 及び 6 日(知事) に設定する、②政党助成金及び選挙運動助成金の配分においては、下院議員選挙における女性及び黒人候補の得票数を２倍にして計算する、③下院議員等、比例選により当選した議員は、党籍変更の場合も議席を失うことはない。

（７） ボルソナーロ政権の支持率

9 月 16 日、ダッタ・フォーリャ紙による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は 22%（前回調査：24%）に下落し、不支持率は 53%（前回調査：51%）に上昇した。

【外交】

（１） アフガニスタン難民に対する人道上の理由による入国査証の発給

9 月 3 日、伯政府はアフガニスタン難民に対して人道上の理由による入国査証の発給を行うことを決定。

（２） モウラォン副大統領・外交団による東アマゾン地域視察

9 月 8 日～10 日、モウラォン副大統領引率による東アマゾン地域視察ツアーが開催され、各国の外交官、議員及びジャーナリストが参加した。外交団では、日本、スペイン、EU、アンゴラ、パラグアイ、仏、印、ウルグアイ、英、スイス各大使が参加した他、アブレウ上院外交国防委員長やマガリャエス外務次官等政府高官も参加した。

（３） ボルソナーロ大統領の BRICS 首脳会合出席

9 月 9 日、ボルソナーロ大統領は、第 13 回 BRICS 首脳会議（オンライン形式）の冒頭で演説を行った。大統領は、BRICS の各国との二国間関係について論じた他、多国間システムの強化と改革、新型コロナウイルス対策、WTO 改革、環境・気候変動対策等について言及した。

（４） ボルソナーロ大統領の国連総会出席

（ア）9 月 21 日、第 76 回国連総会に参加したボルソナーロ大統領は、一般討論演説を行った。大統領が扱った主なトピックは、経済・投資、環境・先住民、平和・安全保障、新型コロナウイルス感染症。

（イ）国連総会のマージンにおいて、ボルソナーロ大統領は、9 月 20 日にジョンソン英首相と、21 日にドゥダ・ポーランド大統領及びグテーレス国連事務総長と会談を行った。

（５） フランサ外相の国連総会出席

（ア）第 76 回国連総会に参加したフランサ外相は、ニューヨークにて、9 月 21 日にブリンケン米国務長官と米伯外相会談を行った他、20 日～24 日にかけグアテマラ、ジャマイカ、シンガポール、ハンガリー、モザンビーク、コスタリカ、ペルー、エジプトの各外相との会談を実施。

（イ）9 月 22 日には、安保理改革に関する G4 外相会合に参加。

３．トピックス

（１）山田大使のマット・グロッソ・ド・スール州訪問

８月 31 日から９月２日の間、山田大使はマット・グロッソ・ド・スール州を訪問。アザンブージャ同州知事を表敬し、同州の日系社会、経済、環境等の分野にわたり意見交換を実施し、またトラッジ・カンポ・グランデ市長を表敬し、同市の日系社会等に関し意見交換を実施。

その他、カンポ・グランデ日伯体育文化協会等を訪問、移民先駆者慰霊碑への献花及び秋篠宮同妃両殿下ご訪問記念碑を視察し、同協会代表者をはじめ、同州各地から参集した各日系団体の代表者との意見交換を実施。またカンポ・グランデ市観光局による案内のもと、市内をバスで周回し、ハジオ・クルービ広場に設置された五重塔を模ったモニュメント及び日本人移民 70 周年記念碑を視察。

カンポ・グランデ日伯体育文化協会訪問

カンポ・グランデ沖縄県人会視察

トラッジ市長表敬

アザンブージャ州知事表敬

（２）「新型コロナウイルス感染症に対する組織的能力強化プロジェクト」に係る補足取極の署名

ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策として、日本政府は、ペルナンブコ連邦大学ケイゾー・アサミ免疫病理学研究所（LIKA）及びオズワルドクルス財団（Fiocruz）に対し、医療機材・試薬の供与及び技術支援を行うことを決定。本支援は、日本政府がブラジル政府のニーズを踏まえ、またブラジルとの友好協力関係に鑑み、ブラジルの保健・医療体制の強化に寄与するために、JICA を通じて実施されるもの。

９月 17 日（金）に、ペレイラ伯外務省国際協力庁長官と山田大使が本支援に係る補足取極へ署名。日本政府は本支援の他にも、CT スキャナーの供与、国際機関を通じた支援、地方政府等への寄付、専門家会議の開催、下院特別委員会での日本の取組紹介など様々な形態での協力を実施しており、引き続き、ブラジルにおける新型コロナウイルス感染症対策の取組を力強く応援してまいりたい。

ペレイラ伯外務省国際協力庁長官と山田大使による署名式の様子

４．大使館からのお知らせ

（１）文化イベント

（ア）ブラジリア草月生け花展（在ブラジル大使館）

日時：10 月 14 日（木）～17 日

場所：Casa Park

内容：ブラジリア草月と在ブラジル大使館と共催で生け花展を開催。14 日のオープニングセレモニーでは山田大使から挨拶を行う。

（イ）オンライン・ビジネス講習会（在クリチバ総領事館）

日時：10 月 28 日（木）（仮）

場所：オンライン

内容：パラナ州日伯商工会議所と共催し、パラナ州若手日系の女性起業家による講演等を実施する。

（ウ）「きみの瞳が問いかけている（Your eyes tell)」映画の公開　（国際交流基金）
日時：10 月 14 日（木）～27 日（水）
場所：映画館
内容：三木孝浩監督が描く映画作品（切ない純愛ラブストーリー）。キャストには吉高由里子、横浜流星など。

（エ）Criarte: criatividade, arte e encanto「満田晴穂」（国際交流基金）
日時：10 月 15 日（金）
サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP
国際交流基金サンパウロ日本文化センター YouTube
内容：日本文化の美と想像力をテーマとしたオンライン動画シリーズを配信。記念すべき第１回目は、満田晴穂氏の自在置物の制作過程を紹介する。

（オ）Destaques da Biblioteca - outubro/2021（2021 年 10 月）（図書館の図書紹介）（国際交流基金）
日時：10 月 29 日（金）予定
サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP
内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館の蔵書から、毎月図書を紹介する。10 月は、折り紙に関する図書を紹介する。

（カ）FJSP オンライン研修（国際交流基金）
日時：10 月 30 日（土）及び 31 日（日）
サイト：国際交流基金サンパウロ日本文化センター HP
内容：「行動中心アプローチと Can-do で授業をデザインしよう」と題したオンラインワークショップ。南米諸国の日本語教師を対象として日本語で実施する。

（２）外務省　海外安全ホームページ

（ア）各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。
http://www.anzen.mofa.go.jp/
（イ）世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ１３の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021 年３月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症

流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。
https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html
（ウ）各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き　ブラジル」を作成し公開している。
https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html
（エ）各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報（令和３年度第１四半期）は以下のリンク先から。
https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

（３）ブラジル渡航情報

（ア）危険情報
最新更新日：2020 年６月 25 日
http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html
以下の地域が「レベル１：十分注意してください。」となっている。
・ブラジリア連邦区
・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
・リオデジャネイロ州大リオ圏
・アマゾナス州大マナウス圏
・ロライマ州北部
・パラー州大ベレン圏
・ペルナンブコ州大レシフェ圏
・バイア州大サルバドール圏
・セアラ州大フォルタレーザ圏
・エスピリトサント州大ビトリア圏
・パラナ州大クリチバ圏
・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

（イ）安全対策基礎データ
最新更新日：2020 年８月６日
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html
主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

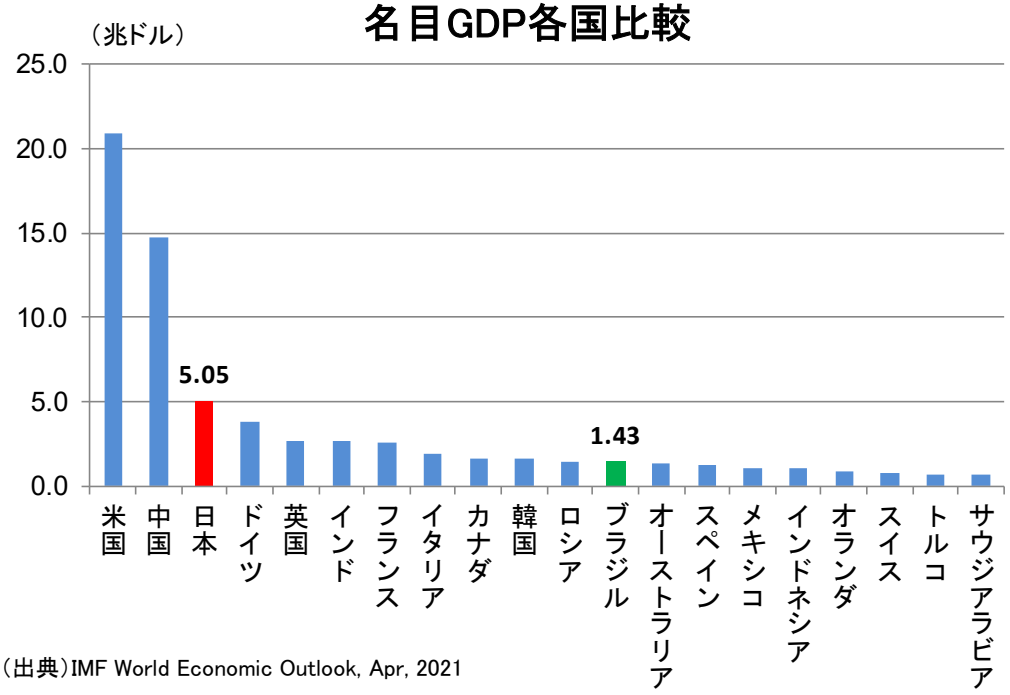
（ウ）テロ・誘拐情勢
最新更新日：2019 年 6 月 10 日
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

Ⅰ．経済構造

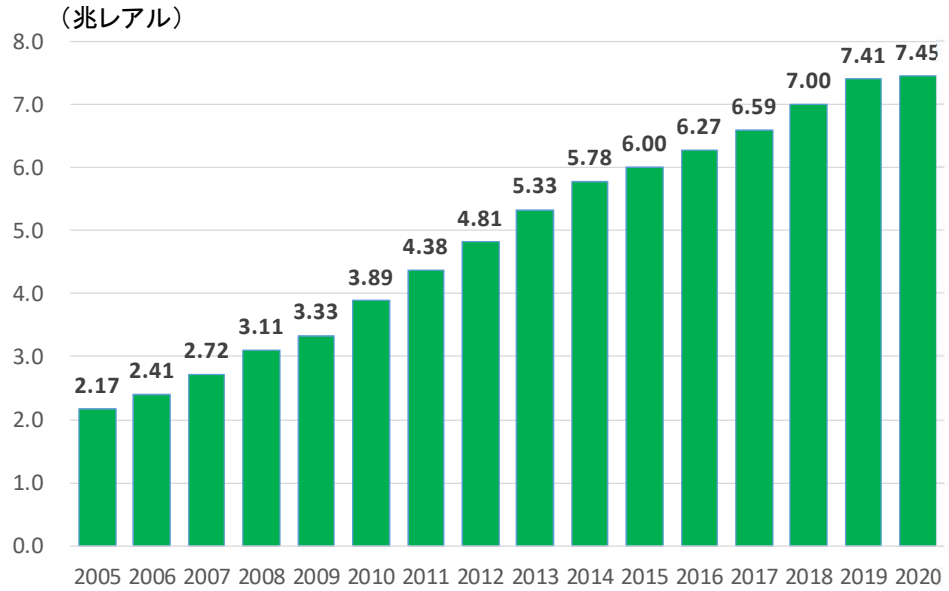
1. 人口約2億1,176万人、面積約851万km²（2020年）
2. 世界第12位の経済規模（名目GDP約1兆4,341億ドル（2020年）：日本の約28%）。一人当たりGDP（約6,783ドル（2020年））は、日本の約17%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産（GDP）額では第三次産業（サービス業）が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成（投資）といった内需が成長に寄与している。

名目GDP各国比較



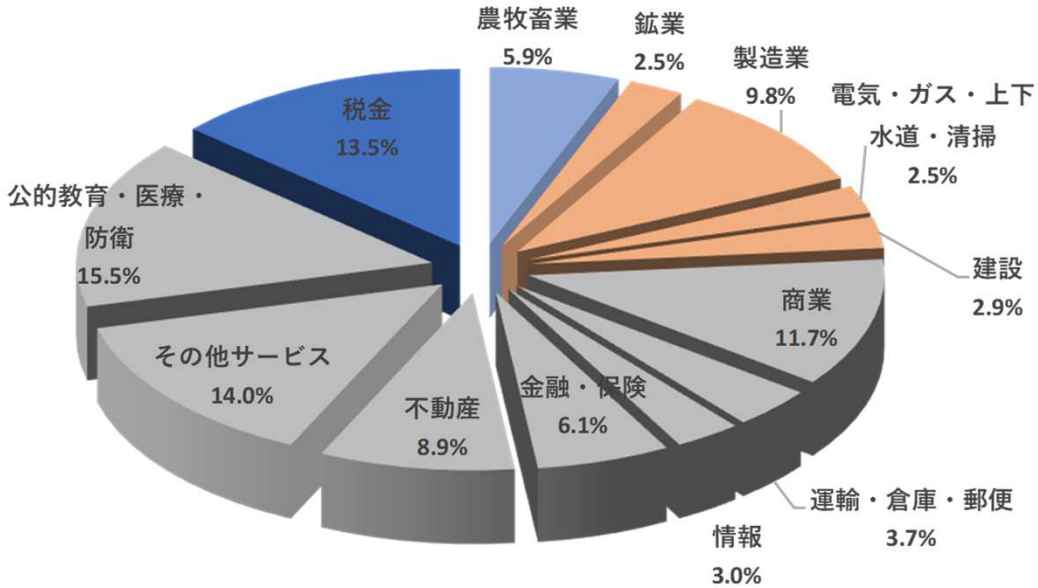
（出典）IMF World Economic Outlook, Apr, 2021

名目GDPの推移



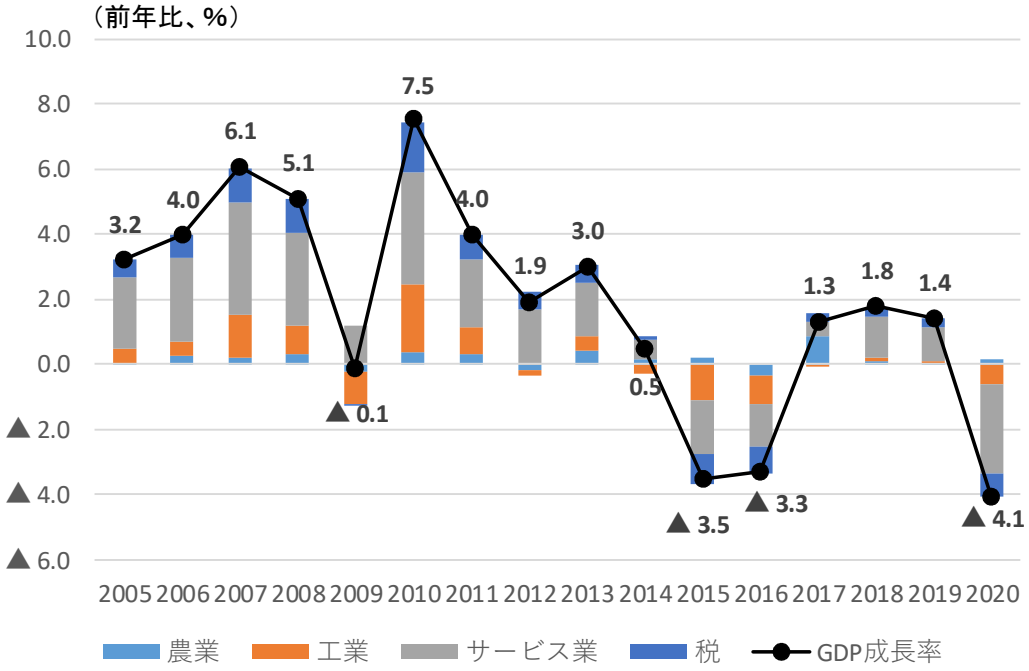
（出典）伯地理統計院（IBGE）

名目GDPの産業別構成比（2020年）



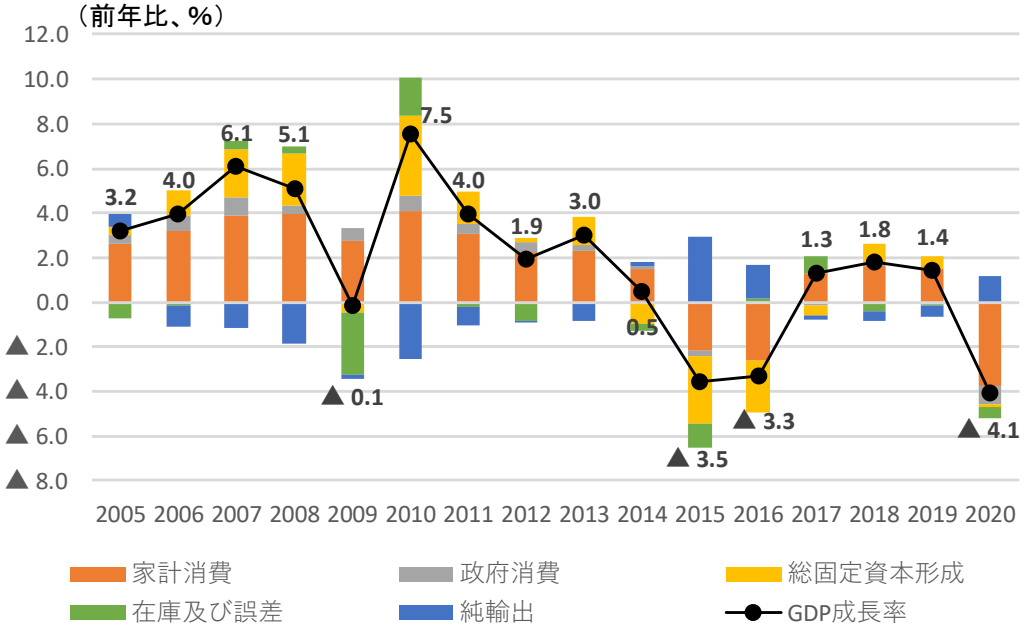
（出典）伯地理統計院（IBGE）

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（暦年）



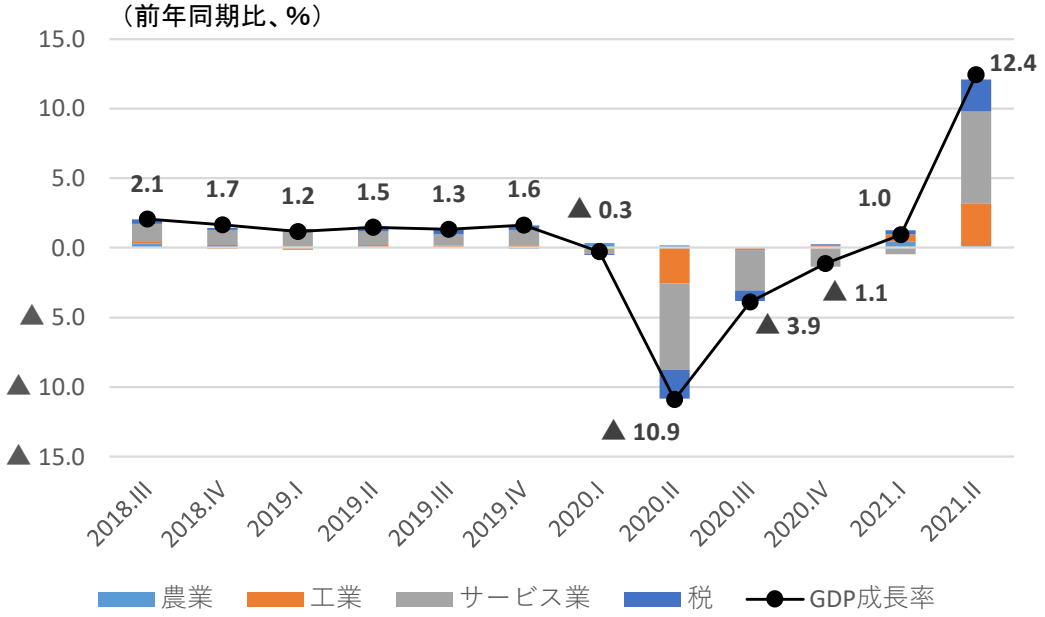
（出典）伯地理統計院（IBGE）、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（暦年）



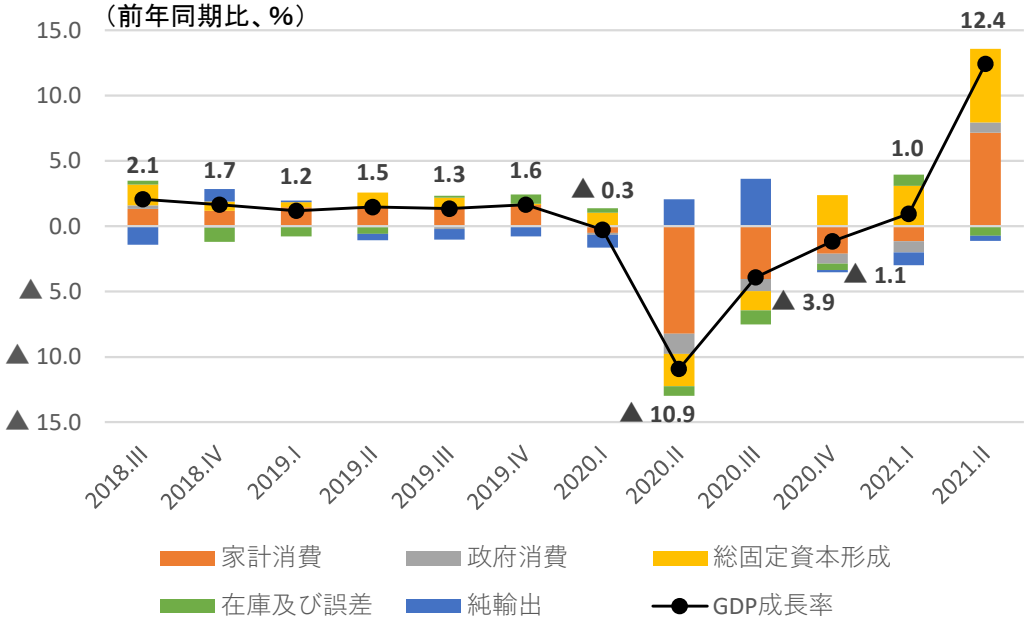
（出典）伯地理統計院（IBGE）
※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除したもの

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移（四半期）



（出典）伯地理統計院（IBGE）、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移（四半期）



（出典）伯地理統計院（IBGE）
※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除したもの

II. 経済の現状

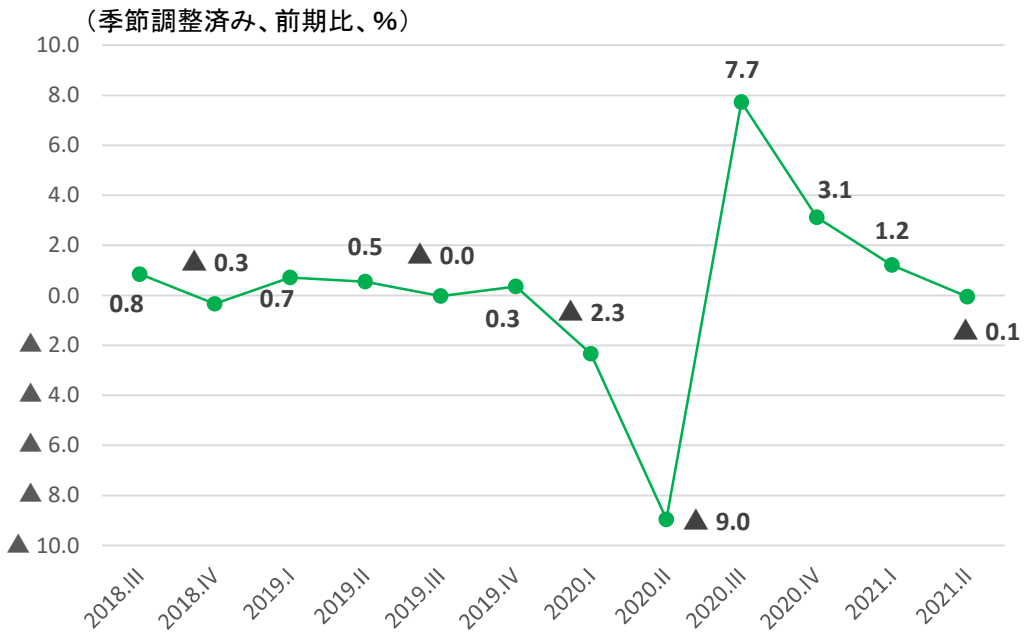
ブラジル地理統計院（IBGE）が9月に発表した2021年第2四半期のGDP成長率は、前期比▲0.1%（4四半期ぶりのマイナス成長）、前年同期比＋12.4%（2四半期連続のプラス成長）となった。

（%、括弧内の数値は寄与度）

			前期比（季調済）		前年同期比（原数値）	
実質GDP			▲ 0.1		12.4	
産業別		農業	▲ 2.8	(▲ 0.2)	1.3	(0.1)
		工業	▲ 0.2	(▲ 0.0)	17.8	(3.1)
		鉱業	5.3	(0.0)	7.0	(0.1)
		製造業	▲ 2.2	(▲ 0.2)	25.8	(2.3)
		電気、ガス、水道	▲ 0.9	(▲ 0.0)	6.7	(0.2)
		建設業	2.7	(0.1)	13.1	(0.6)
		サービス業	0.7	(0.4)	10.8	(6.6)
		商業	0.5	(0.0)	20.9	(1.4)
		運輸、倉庫、郵便	0.1	(0.0)	25.3	(0.6)
		情報、通信	5.6	(0.2)	15.6	(0.7)
		金融、保険	0.3	(0.0)	1.4	(0.2)
		不動産	0.4	(0.0)	3.5	(0.4)
		その他サービス業	2.1	(0.2)	16.1	(1.8)
		公共サービス	0.0	(0.0)	4.1	(0.6)
需要項目別		家計消費	0.0	(0.0)	10.8	(7.1)
		政府消費	0.7	(0.1)	4.2	(0.8)
		総固定資本形成	▲ 3.6	(▲ 0.8)	32.9	(5.6)
		輸出（財・サービス）	9.4	(1.3)	14.1	(2.2)
		輸入（財・サービス）	▲ 0.6	(▲ 0.1)	20.2	(2.6)
		純輸出（財・サービス）	-	(1.4)	-	(▲ 0.4)

（出典）伯地理統計院（IBGE）
産業別及び需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算したもの。

実質GDP成長率の推移（四半期）



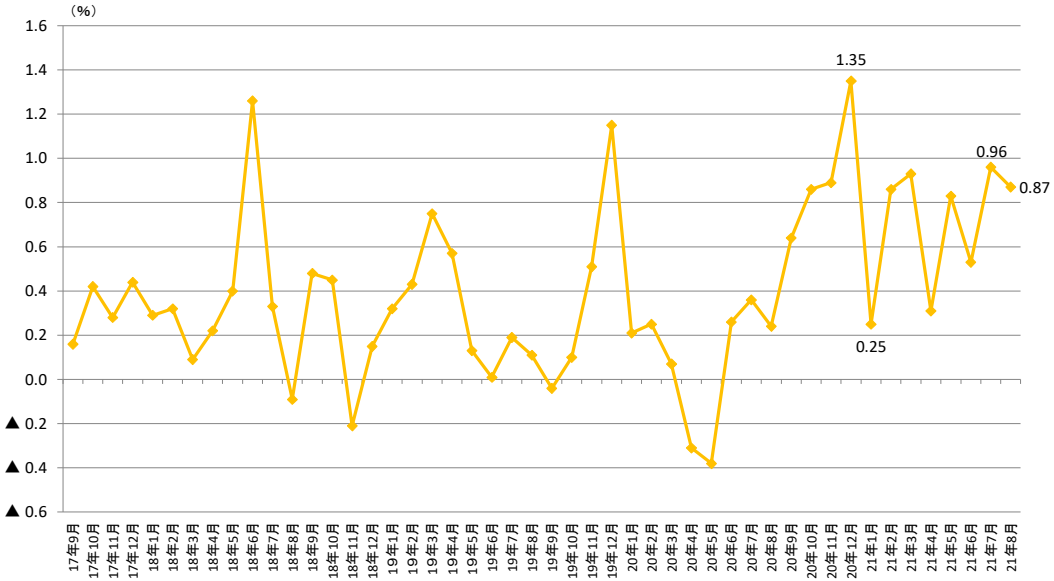
（出典）伯地理統計院（IBGE）

各機関による2021年のGDP成長率予測		
世銀	+3.0%（2021年4月）	
IMF	+5.3%（2021年7月）	
伯経済省	+3.5%（2021年5月）	+5.3%（2021年9月）
伯中銀	+4.6%（2021年6月）	+4.7%（2021年9月）
伯中銀 Focus	5.04%（2021年9月24日）	

物価の動向

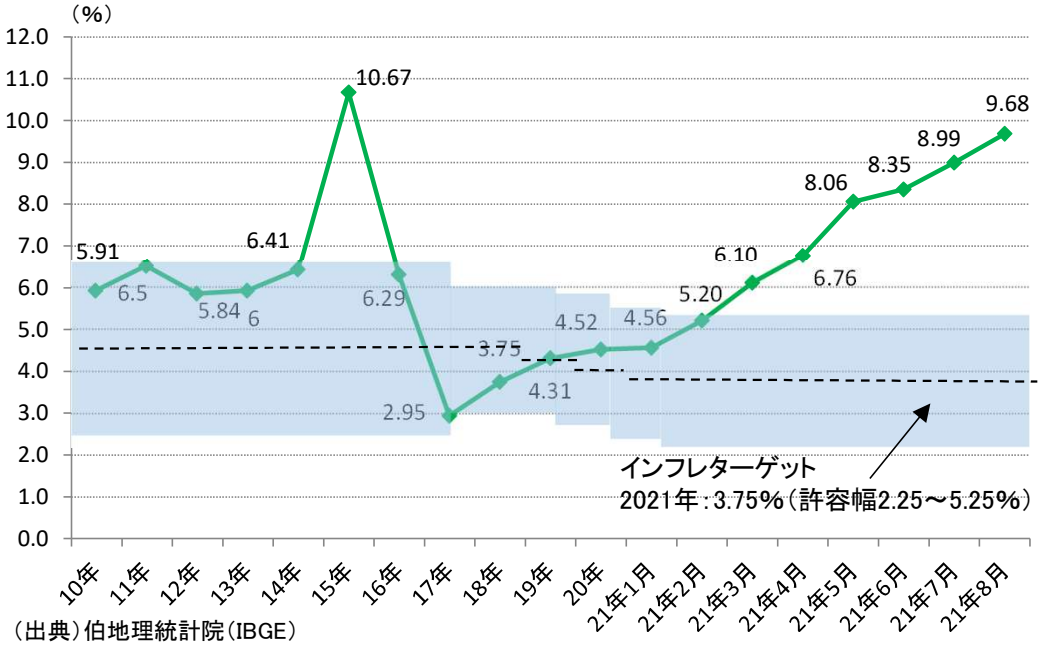
８月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.87%、直近12か月累計では9.68%となった。

拡大消費者物価指数（IPCA）上昇率の推移（各月）



（出典）伯地理統計院（IBGE）

拡大消費者物価指数（IPCA）上昇率の推移（12か月累計）



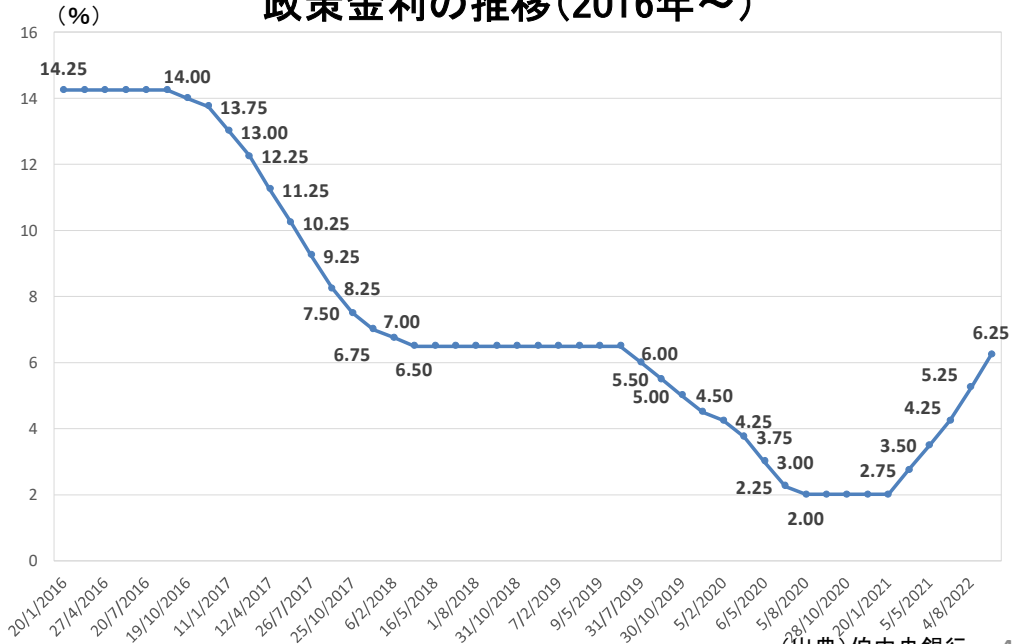
（出典）伯地理統計院（IBGE）

政策金利

９月21～22日、伯中央銀行金融政策委員会（COPOM）が開催され、政策金利（Selic）を100bp引き上げて6.25%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引上げは3月、5月、6月、8月に引き続き5回連続。

次回会合は10月26～27日に開催。

政策金利の推移（2016年～）

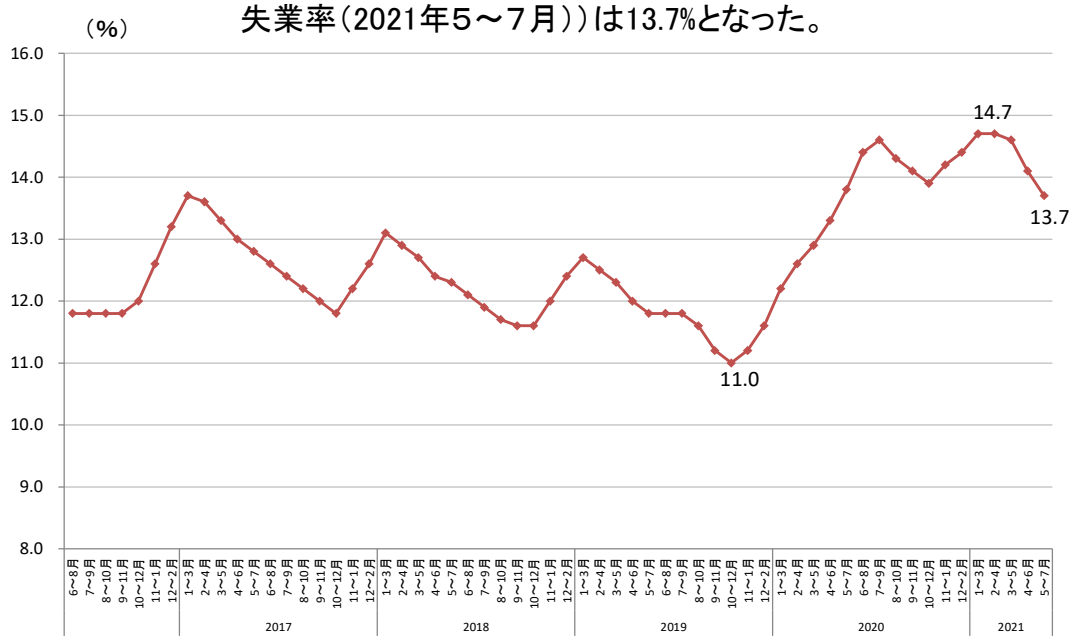


（出典）伯中央銀行

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移（3か月移動平均）

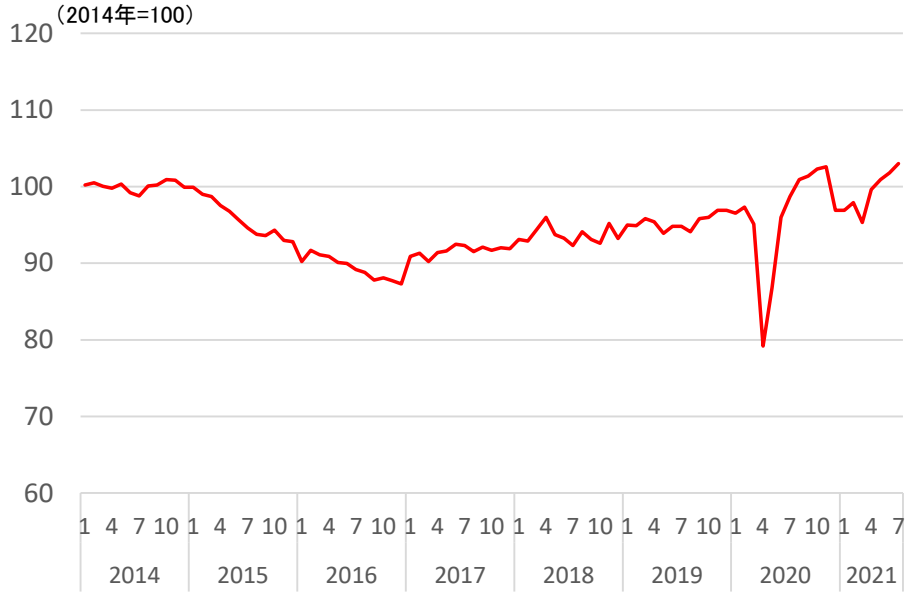
失業率（2021年５～７月））は13.7%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

小売売上高指数の推移（月次）

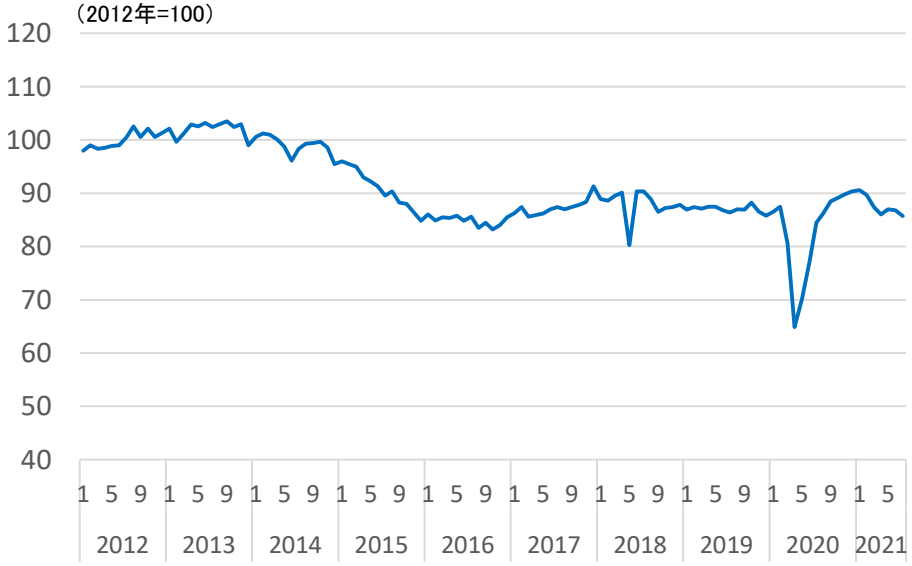
小売売上高（７月）は前月比+1.2%、前年同月比+5.7%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

鉱工業生産指数の推移（月次）

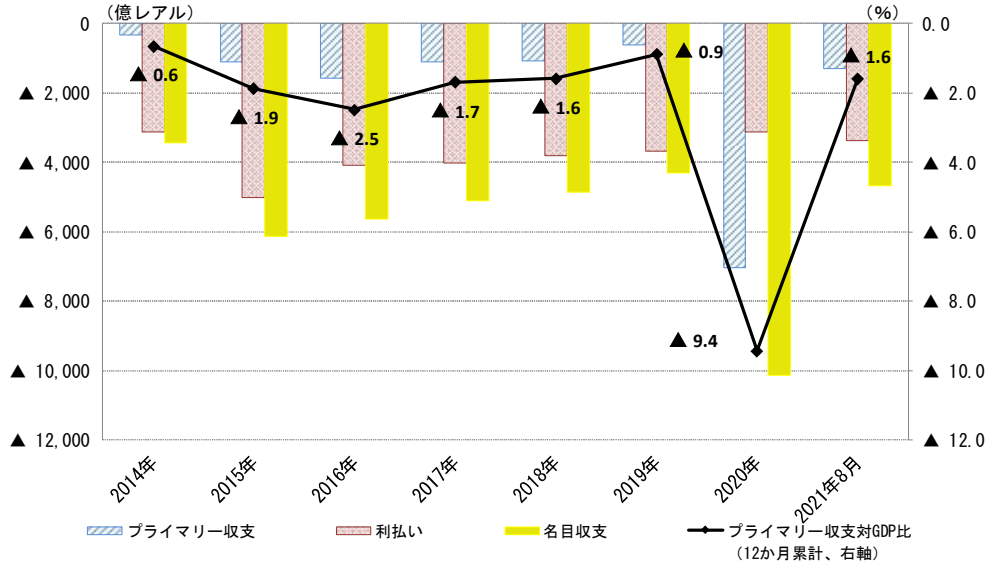
鉱工業生産（７月）は前月比▲1.3%、前年同月比では+1.2%となった。



（出典）伯地理統計院（IBGE）

財政収支の推移

2021年８月のプライマリーバランスは▲1,303億レアル、利払いは▲3,357億レアル、名目収支は▲4,660億レアルとなった。



（出典）伯中央銀行

国際収支の動向

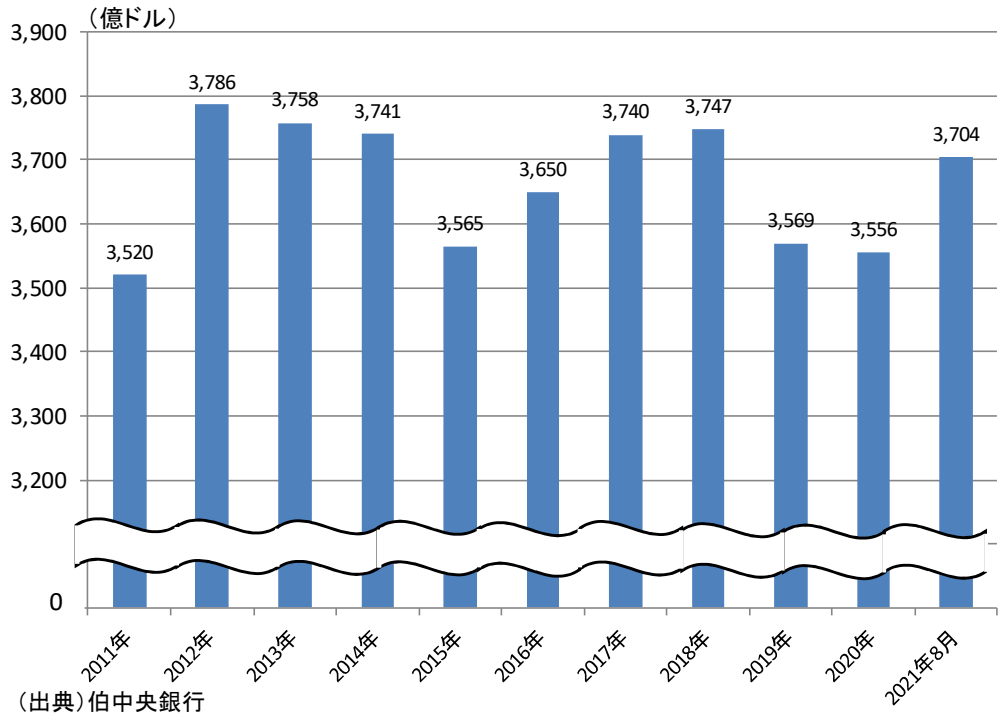
国際収支

（億ドル）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 1-8月
経常収支	▲ 245	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 259	▲ 65
貿易収支	445	573	434	265	324	321
サービス収支	▲ 306	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 108
第1次所得収支	▲ 415	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 397	▲ 301
第2次所得収支	31	21	▲ 0	12	23	22
資本移転収支	3	4	4	4	41	1
金融収支	▲ 161	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 186	▲ 101
直接投資	▲ 596	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 481	203
対外直接投資	147	213	20	228	▲ 35	159
対内直接投資	743	689	782	692	447	362
証券投資	200	177	69	192	136	▲ 43
金融派生商品	▲ 10	7	28	17	54	▲ 12
その他投資	152	69	113	▲ 128	247	▲ 17

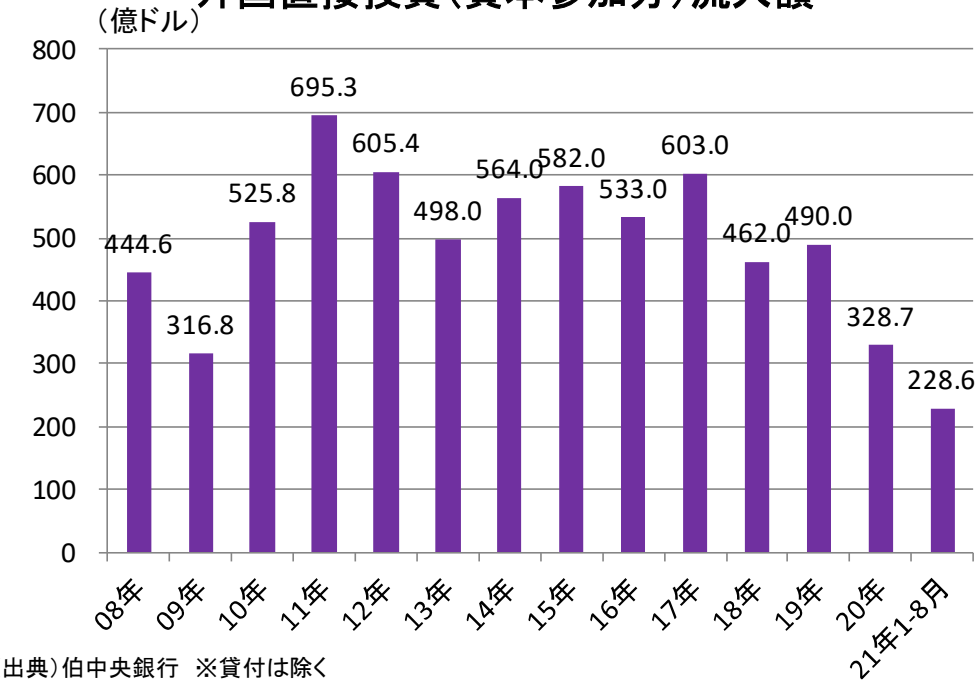
（出典）伯中央銀行

外貨準備高



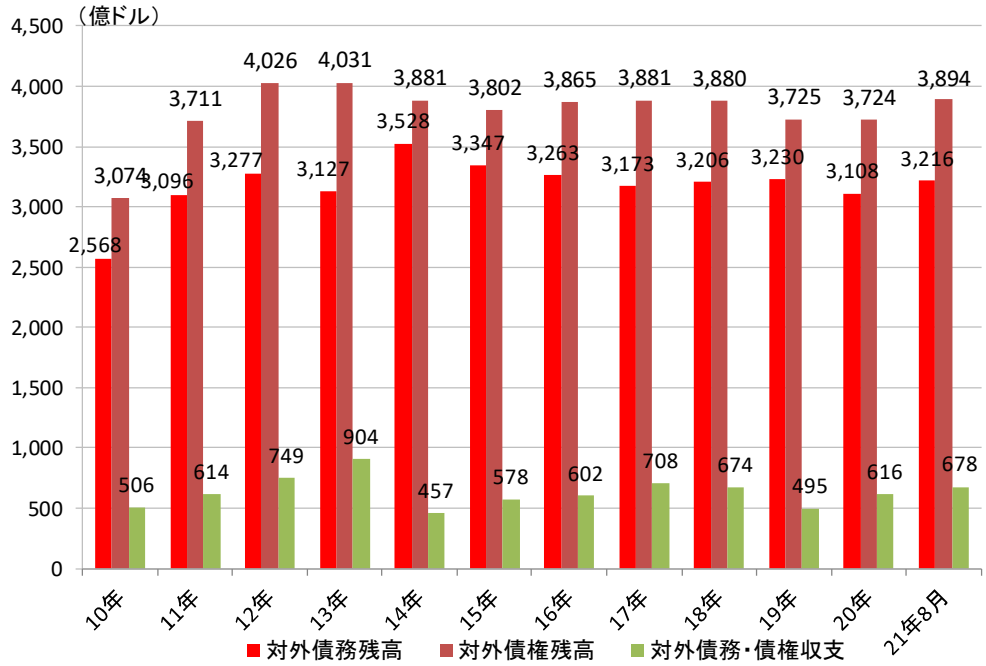
（出典）伯中央銀行

外国直接投資（資本参加分）流入額



（出典）伯中央銀行　※貸付は除く

対外債務・債権収支



（出典）伯中央銀行

為替・株価の推移

９月の為替市場は5.16～5.44レアル/ドルで推移。

月の前半は、９月７日の独立記念日で、大統領が最高裁判事を批判する等、政治的緊張の高まりを背景にレアル安となった。同９日に大統領が最高裁判事や連邦議会を攻撃する意図はなかったとの内容を含む声明を発表したことで、政治的緊張は落ち着きを取り戻した。その後は、伯中央銀行の金融政策の見通し等を材料に上下する展開となった。

月の後半は、中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念を背景としたリスクオフの動きや、米国金融緩和の縮小観測の高まりを材料にレアル安の展開となった。

為替の推移（対米ドル）

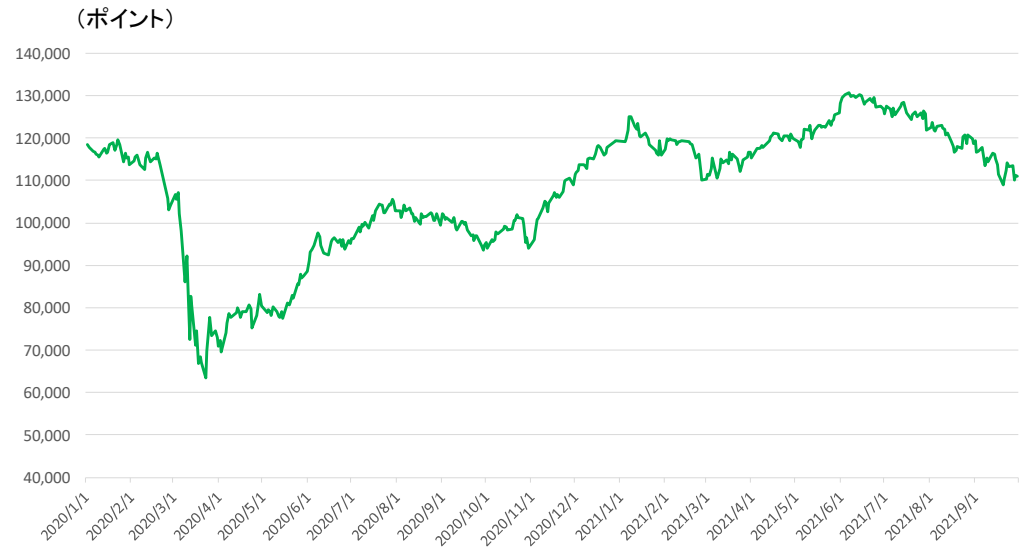
（出典）Bloomberg

９月の株式市場は108,844～119,396ポイントで推移。

月の前半は、為替と同様に、独立記念日における大統領の発言による政治的緊張の高まりを背景に下落するも、大統領が声明の発表したことで回復。その後は資源価格の動向を材料に上下する展開となった。

月の後半は、中国不動産開発会社の債務不履行を巡る懸念等を材料に下落傾向となる展開となった。

株価指数（Ibovespa）の推移



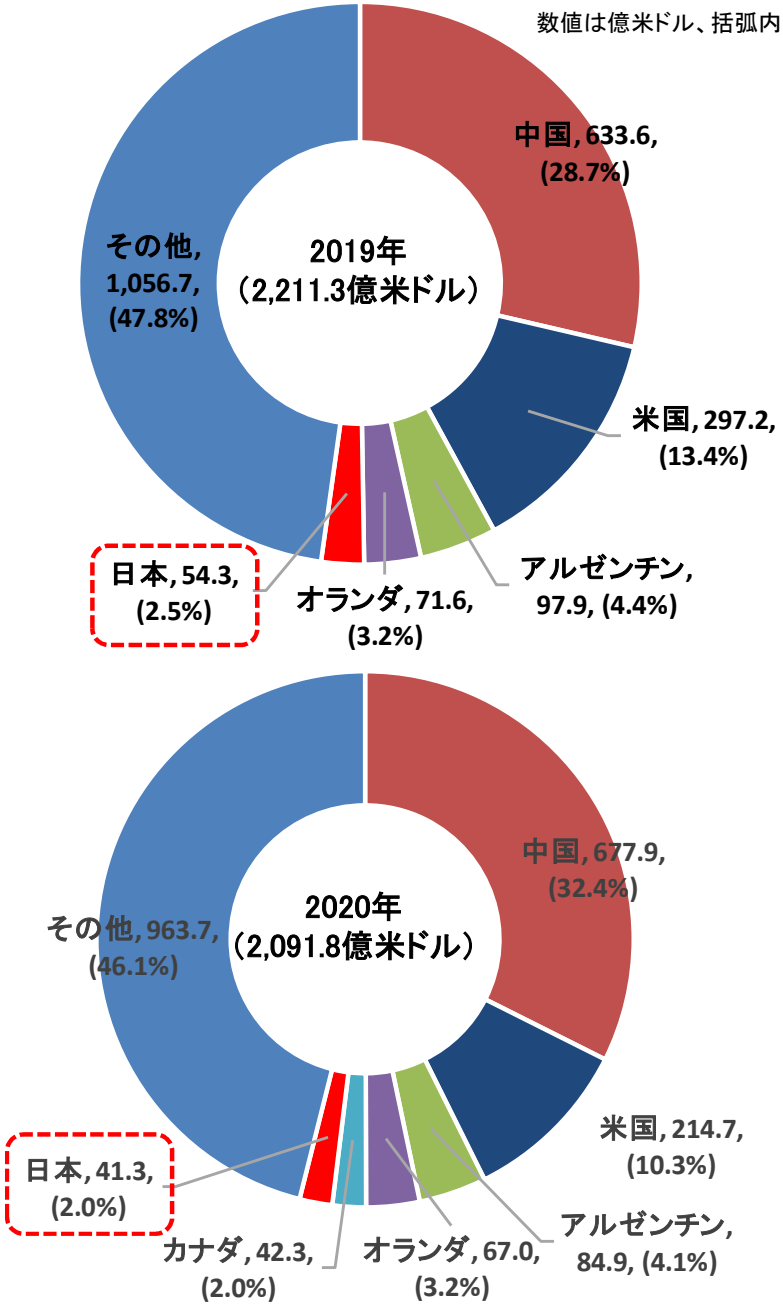
（出典）B3

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2020年においては、日本は貿易相手国としては輸出、輸入ともに上位6位となっている。

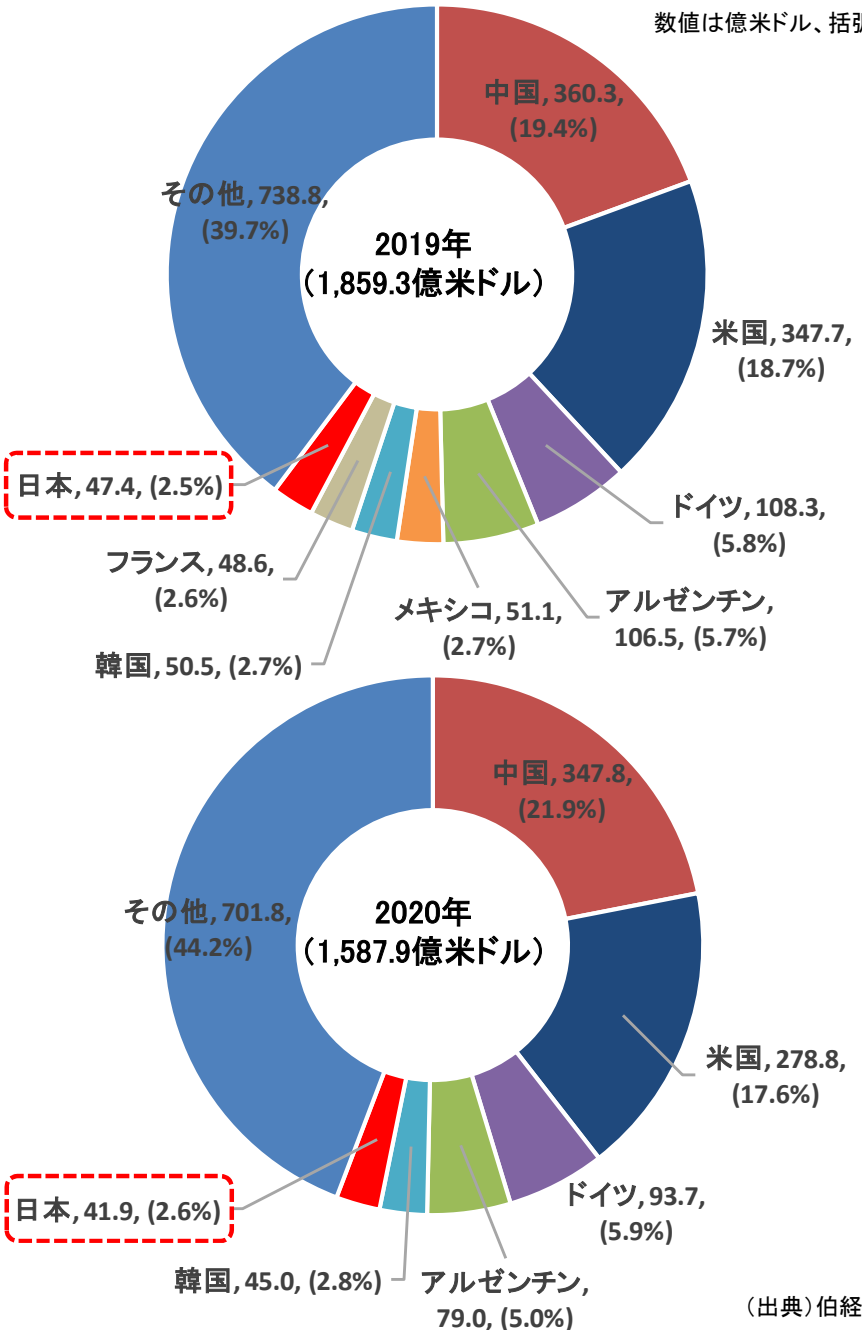
輸出額と構成比（国別）

数値は億米ドル、括弧内は構成比



輸入額と構成比（国別）

数値は億米ドル、括弧内は構成比

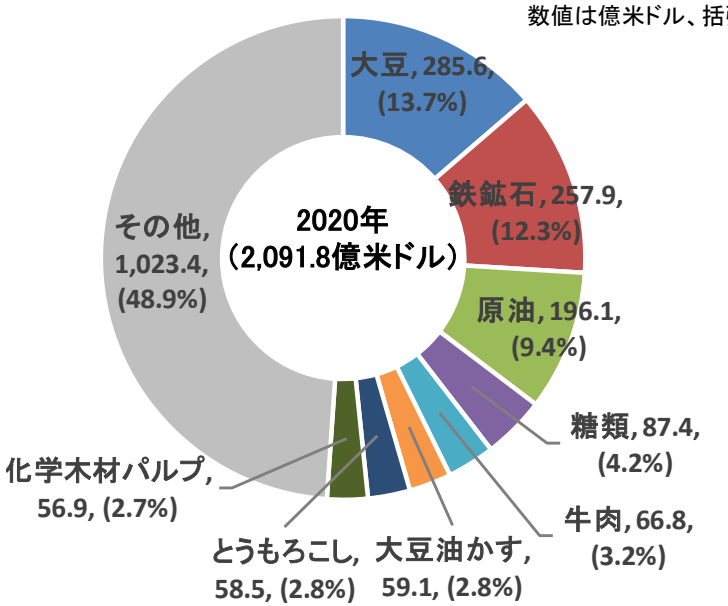


（出典）伯経済省

主要輸出品目は食品（大豆、肉類、糖類等）、資源（鉄鋼石、原油等）。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【大豆】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	285.6	100.0
①	中国	209.0	73.2
②	オランダ	11.1	3.9
③	スペイン	9.6	3.3
④	タイ	9.1	3.2
⑤	トルコ	7.2	2.5

【鉄鋼石】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	257.9	100.0
①	中国	185.2	71.8
②	マレーシア	16.9	6.6
③	日本	8.9	3.5
④	オマーン	5.8	2.3
⑤	オランダ	5.7	2.2

【原油】

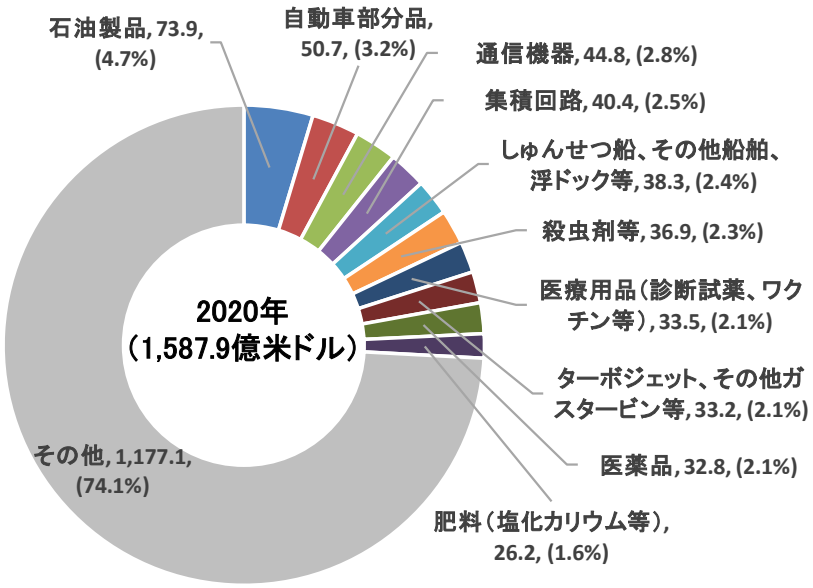
		億米ドル	構成比（%）
	合　計	196.1	100.0
①	中国	113.5	57.8
②	米国	13.6	6.9
③	インド	12.2	6.2
④	スイス	10.4	5.3
⑤	ポルトガル	9.1	4.6

【糖類】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	87.4	100.0
①	中国	12.9	14.8
②	アルジェリア	6.7	7.7
③	バングラデシュ	6.3	7.2
④	インド	4.8	5.5
⑤	インドネシア	4.7	5.3

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【石油製品】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	73.9	100.0
①	米国	53.2	72.0
②	スペイン	3.4	4.7
③	インド	2.6	3.5
④	オランダ	2.5	3.3
⑤	UAE	1.6	2.2

【自動車部分品】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	50.7	100.0
①	日本	6.2	12.2
②	中国	6.0	11.9
③	ドイツ	5.4	10.6
④	メキシコ	5.3	10.5
⑤	韓国	4.9	9.7

【通信機器】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	44.8	100.0
①	中国	28.1	62.6
②	ベトナム	7.9	17.6
③	米国	2.1	4.6
④	香港	1.2	2.8
⑤	メキシコ	1.2	2.6

【集積回路】

		億米ドル	構成比（%）
	合　計	40.4	100.0
①	韓国	10.2	25.3
②	中国	9.4	23.3
③	台湾	8.4	20.9
④	ベトナム	4.7	11.7
⑤	マレーシア	2.4	5.9

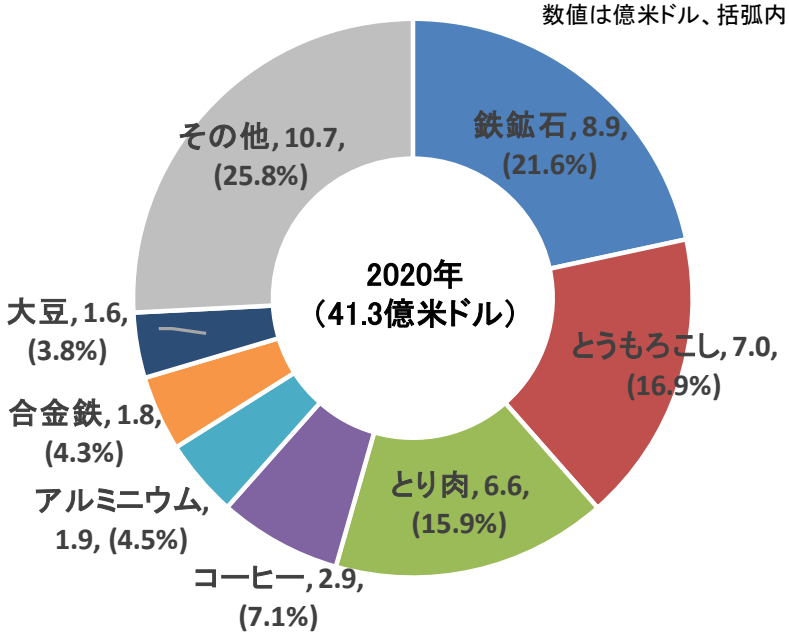
（出典）伯経済省

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（大豆、トウモロコシ、肉類、コーヒー等）、主要輸入品目は自動車関連（部分品、完成車）が中心となっている。

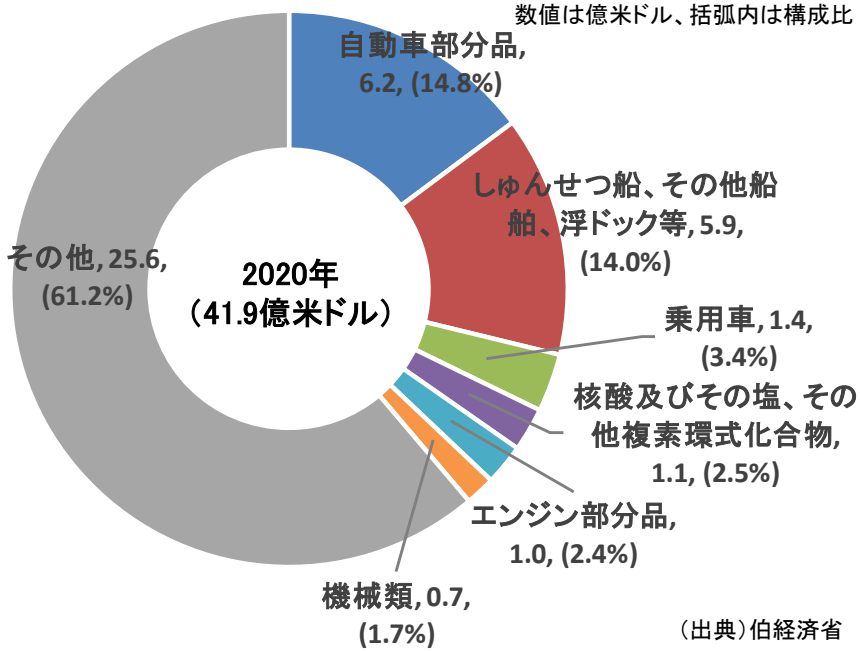
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



（出典）伯経済省

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比（2020年）

【鉄鉱石】

		億円	構成比（%）
	合　計	10,308.0	100.0
①	豪州	5,382.6	52.2
②	ブラジル	3,052.2	29.6
③	カナダ	738.4	7.2
④	南ア共和国	371.0	3.6
⑤	インド	208.8	2.0

【とうもろこし】

		億円	構成比（%）
	合　計	3,515.9	100.0
①	米国	2,245.6	63.9
②	ブラジル	1,204.9	34.3
③	南ア共和国	31.1	0.9
④	ロシア	16.4	0.5
⑤	フランス	7.5	0.2

【とり肉】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,216.5	100.0
①	ブラジル	791.1	65.0
②	タイ	372.6	30.6
③	米国	25.1	2.1
④	ハンガリー	9.8	0.8
⑤	フランス	9.2	0.8

【コーヒー】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,257.8	100.0
①	ブラジル	326.6	26.0
②	コロンビア	228.4	18.2
③	ベトナム	181.4	14.4
④	グアテマラ	106.6	8.5
⑤	エチオピア	81.5	6.5

【アルミニウム】

		億円	構成比（%）
	合　計	3,825.1	100.0
①	ロシア	728.2	19.0
②	豪州	633.5	16.6
③	UAE	527.3	13.8
④	NZ	356.3	9.3
⑤	中国	269.5	7.0
⑥	ブラジル	226.8	5.9

【合金鉄】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,806.2	100.0
①	カザフスタン	385.1	21.3
②	ブラジル	236.3	13.1
③	ロシア	191.0	10.6
④	南ア共和国	186.0	10.3
⑤	インド	147.3	8.2

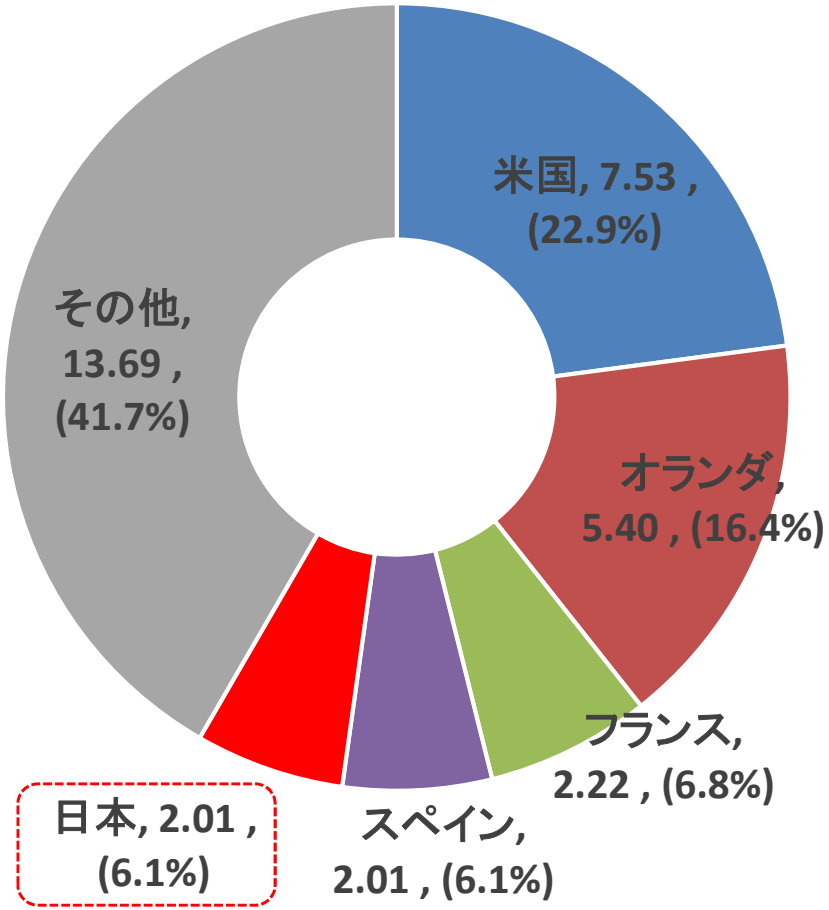
【大豆】

		億円	構成比（%）
	合　計	1,591.6	100.0
①	米国	1,158.3	72.8
②	カナダ	221.4	13.9
③	ブラジル	184.6	11.6
④	中国	24.6	1.5
⑤	ロシア	2.3	0.1

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄（フェロアロイ）7202、大豆1201

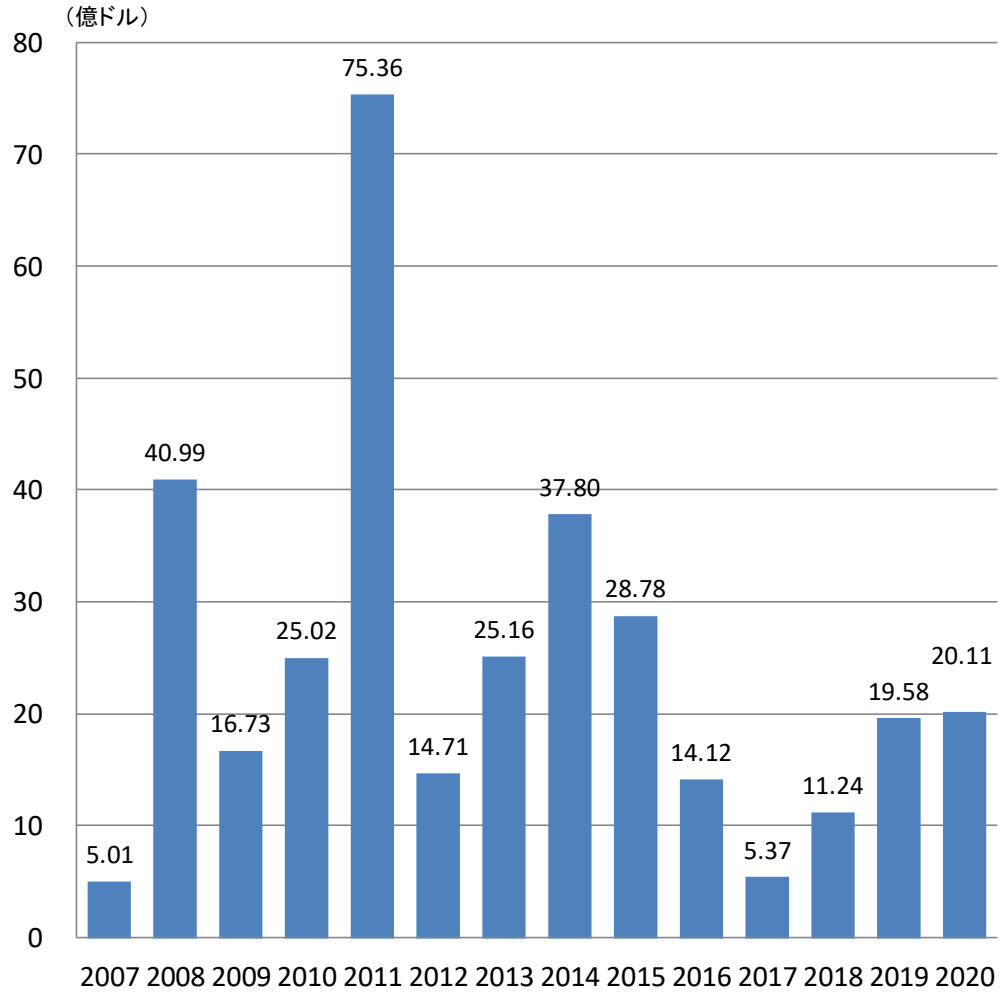
（出典）財務省（日本）

対ブラジル直接投資（資本参加分）の国別構成比
総額328.69億ドル（2020年）



（出典）伯中央銀行

日本の対ブラジル直接投資（資本参加分）の推移



（出典）伯中央銀行

※ 中国：0.44%。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、
実際よりも少ない数値となっている。